

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS

令和6年
第1回 定例会

会期：2月14日～3月14日の30日間



No.268 令和6年4月30日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

目次

- 代表質問…………… 2～3面
- 一般質問…………… 4～5面
- 定例会活動報告 …… 6～8面
- 可決した決議 …… 8面
- 本会議における討論 …… 9面
- 委員会で取り扱った請願・陳情 …… 10面
- 議案の審議結果等 …… 11面
- 会期日程等 …… 12面

トップニュース

TOP NEWS

令和6年度

一般会計 当初予算を可決

令和6年度の千代田区一般会計当初予算では、区民生活の基盤に関わる重要課題として6つのテーマを挙げています。

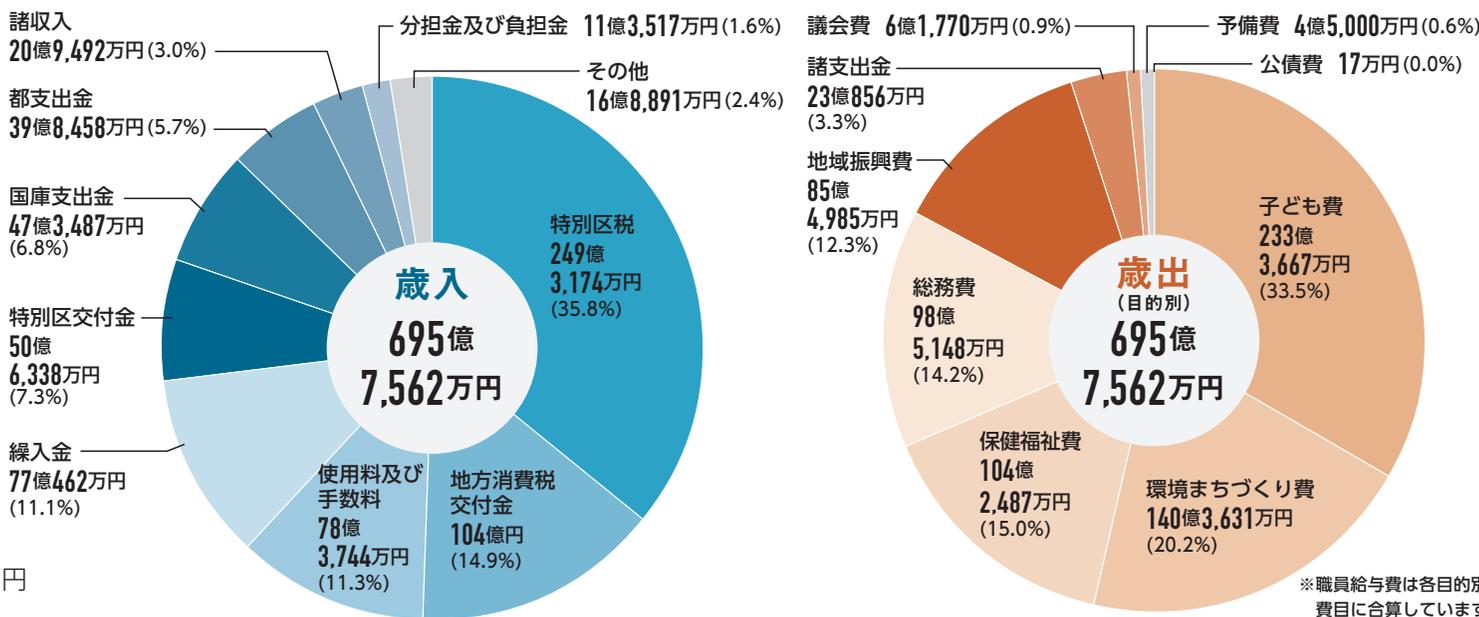
- ①子ども・子育て支援施策 ②DXの推進 ③高齢者施策
④地域コミュニティ活性化 ⑤脱炭素社会の実現 ⑥災害に備えたまちづくり
中でも、結婚や出産、子育てをためらう方々に寄り添う「子ども・子育て支援施策」と、行政サービスを刷新し区民の生活をアップデートする「DXの推進」には特に注力し、大きく変化する時代環境に的確に対応すべく「チャレンジングな取組み」を展開する、としています。

一般会計
予算の内訳

一般会計

695億7,562万円

前年度対比△54億6,764万円



※職員給与費は各目的別の費目に合算しています

予算が決まるまで

区の1年間の仕事に必要なお金は、新年度が始まる前の本会議で決定されます。区長が、税金などのお金をどのように使うかをまとめた「予算案」に対して、議会が内容を審査する「予算審議」を行います。

予算特別委員会 委員長報告 (概要)

令和6年度当初予算4議案は、全議員で構成される予算特別委員会を設置し、審査しました。委員会では、概要説明を受けたのち、企画総務、文教福祉、環境まちづくりの3つの分科会を設置し、それぞれ所管部分の詳細な調査を行いました。本委員会においては、分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え、採決に入ったところ、当初予算4議案は賛成多数で可決すべきものと決定しました。

- 1 -

議案(予算案)提出

区の当初予算案が確定すると、第1回定例会で、区長から議案として提出されます。



- 2 -

議案付託

提出された予算案は、予算特別委員会設置後、同委員会に付託されます。「委員会に付託」とは、議決に先立ち、所管の委員会に議案等の専門的な審査や調査をゆだねることです。



- 3 -

予算特別委員会

予算審査のため特別に設置される委員会です。千代田区議会では、さらに常任委員会別の3つの分科会を設置します。そこで、予算案を詳しく審査し、委員会として意思決定するための表決を行います。



- 4 -

委員長報告

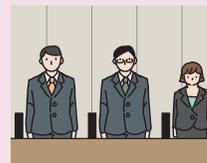
委員会での審査結果を、委員長が本会議で報告します。



- 5 -

議決

本会議で賛成か反対のどちらかに議会の意思を決定する議決を行います。予算を可決すると、区の「当初予算」の成立となります。



- 6 -

予算成立・執行

予算が成立すると、4月から執行が可能になります。年度途中で変更が必要になった場合は、「補正予算案」が組まれます。



「契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会」を始動

2月22日(木)に特別委員会を開催し、情報の整理や今後の調査の進め方を議論し、これからは精力的に調査等を行うこととしました。開催内容は8ページにも掲載しています。

Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

#次世代・都民ファースト・立憲の会 おのぞら 亮



子育て施策の公平性・自治体間競争の認識と対策

問 通う学校の種類によって子育て支援の差が広がり、不公平感が広がったのでは。区が考える公平性とは。また、他自治体、他区との競争に負けないよう、先進的・積極的に取り組むべきでは。

答 世帯それぞれ様々な事情を抱えるため、多角的かつ重層的な施策展開が必要。予算案では保育園におけるおむつ無償化等で他区に先駆けており、今後もチャレンジングな施策を展開していく。

区民体育大会や敬老会等イベントの改善を

問 参加率が年々低下傾向にある区主催イベントの参加率向上や内

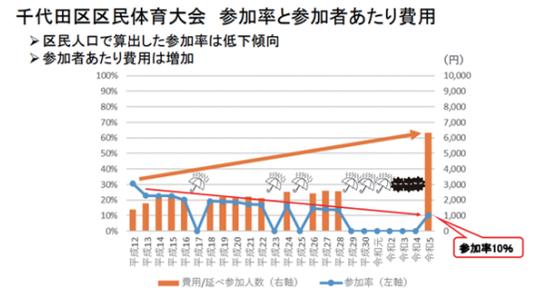
容改善に取り組むべき。改善の余地、方法について区の見解は。

答 不参加者等の広範な方々への意見聴取を行い、様々な視点から検証し、事業の効果測定手法と併せて関係団体等と協議していく。

区組織として内部統制の見直しをすべきでは

問 官製談合防止法違反容疑による逮捕を受け①内部統制の本格的な制度構築が必要では②内部通報や公益通報制度の活用に工夫を③公契約条例の効果と課題④賃金下限額設定のあり方への見解は。

答 ①再発防止対策の検討体制の中で検討する②点検・検討を行う③労働環境確保と公共サービスの質向上に効果。労務台帳作成様式見直しを検討④民間賃金の推移等を考慮し適正な設定に努める。



千代田区議会 自由民主党 大坂 隆洋



官製談合事件への対応

問 ①大きく報道された当該施設の関係者は大きな動揺と怒りを感じている。区のフォローやケアは②再発防止策の検討に真相究明はどこまで行うのか。刑法上の時効を越えて行う覚悟はあるのか。

答 ①施設利用には支障がないことを丁寧に説明、再発防止に真摯に取り組み信頼回復の努力を重ねる②犯罪捜査と異なり制度等の点検が主眼。把握した事実は再発防止の観点で状況に応じ取り扱う。

予算審査に向けた樋口区政1期目の成果と課題

問 アフターコロナの新時代に新たな千代田区をどう築くのか。改

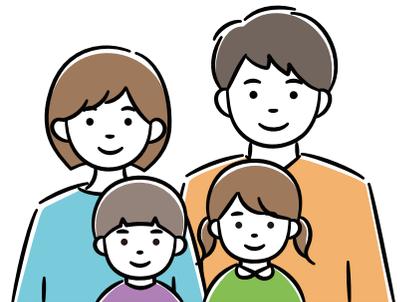
めて就任後からこれまでを振り返り、樋口区政の総括を。

答 コロナ禍では区民の命と健康を何としても守ろうとスピード感を持って病床確保等を進め、地域経済等の諸課題にも着実に取り組んできた。また、区民の暮らしを支えるべく新たな将来像を基本構想で示し、重要テーマに対応するため令和6年度予算案を編成した。

子育て支援施策の方向性

問 本区は人口増の一方で子どもは減っており、子育て支援施策の考え方を根本から変えていく必要がある。現状把握と課題認識は。

答 人口増加が続くも出生数と就学前人口は減少傾向。量から質への分岐点を迎える中、支援事業計画改定で今後のあり方等を示す。



千代田区議会自由民主党議員団 桜井 ただし



子ども子育て支援施策と物価高騰への対応策は

問 ①令和6年度予算に込めた子ども子育て支援施策の基本的な考え方は②定額減税実施後も物価高騰が継続した場合の対応策は。

答 ①おむつ無償化、障害児福祉サービスの利用者負担ゼロ等、本区なら安心して結婚し、産み、育てられると前向きになってもらいたい②実施中の各事業のほか、定額減税や各給付金等の効果を見定めつつ、社会経済情勢と合わせて事業実施の必要性を判断していく。

第4次基本構想の実現と行政運営の健全性確保

問 ①第4次基本構想の実現に向け、次年度予算で取組みをどう明確

化したか②基本構想の実現と行財政運営の健全性確保の両立は。

答 ①取組みの背景や狙いを明記し基本構想との関係や到達点を明確化②様々な行政需要等を勘案し計画的な財政運営に努める。

介護保険制度の見直しと認知症基本法への取組み

問 ①第8期介護保険事業計画の評価は②次期計画策定の進捗と計画の特徴は③認知症基本計画での「共生」と「予防」の実現は。

答 ①介護予防等への取組み増、介護サービス基盤の強化等が成果。認知症相談窓口の認知度が課題②3月に策定予定。応能負担を強化し低所得層の負担を抑制、認知症予防施策にも注力③高齢者の社会参加活動の支援や支え手の裾野を広げる取組み等を展開する。



Q&A

代表質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

公明党議員団

米田 かずや



官製談合事件の再発防止に向けた取組みについて

問 ①区の受止めは②再発防止の観点から具体的にどう取り組むか。

答 ①公正性が求められる入札・契約業務での不正容疑による逮捕は誠に遺憾、事態を重く受け止め実効性のある再発防止対策への取組みが必要と強く認識②庁内検討体制にて契約制度、職員倫理、議員や事業者等との関わり方を中心に実態を把握し検討を進める。

本区のいじめ対策について

問 ①近年のいじめ発件数の推移と対応の中での課題と今後の取組みは②AI活用で子どもを守るアプリ「コドマモ」の周知啓発を。

答 ①20～30件台を推移。担任一人が抱えてしまい組織対応が難しくなるケース等があり、いじめが起きにくい学級風土の醸成や初動体制の速やかな構築等が重要と認識②アプリの汎用・拡張性の動向を注視し有益性や効果等を確認しながら検討・啓発を進める。

高齢者の健康寿命を目指した施策について

問 RSウイルス感染症は特に高齢者に影響が大きい。疾患の周知や感染予防への注意喚起、ワクチン接種の公費助成を検討しては。

答 区ホームページ等を活用し疾患の周知と感染予防を呼びかける。また、現時点では国内のワクチン接種数は少なく公費助成検討に資するデータが乏しいため、今後も国の動向を注視しつつ対応する。



ちよだの声

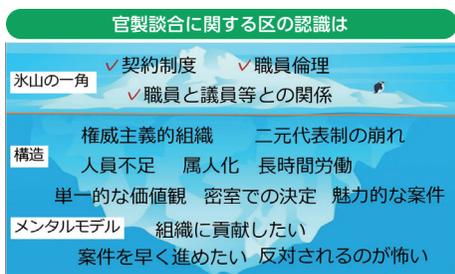
はまもり かおり



官製談合等の不祥事を断ち切る原因究明・対策

問 ①官製談合への認識は。本質的な原因をどう突き止めるか②議会と行政は適正な緊張関係が必要。二元代表制についての考えは。

答 ①区民への信用失墜行為として、あってはならないことと認識。検討体制にて契約制度や職員倫理、議員や事業者等との関係を中心に実態を把握し再発防止に向け実効性ある対策を検討②互いに尊重しつつ緊張関係を持ち、区民の



出所：議員本人作成

ために共に尽力すべきもの。

区民との対話による政策づくり

問 ニーズの多様化により、区民と対話をしながらの政策づくりが大事。区には中立的な立場で話し合いを進める役割があるのでは。

答 関係者が持つ多様な価値観をお互いに理解、共有し合い、将来像を共に作り上げていく対話の場を持つことが重要と考える。

居場所づくりに関する全体像・方針

問 孤独や孤立を生まない社会の実現に様々な居場所づくりが求められている。区はどのように捉え、どのような戦略を持つのか。

答 子どもの居場所とは心身の安全が確保され安心して過ごせるもので、学校や児童館といった既存地域資源等の柔軟な活用で創出されると認識。福祉分野では横断的に地域資源を整理した「千代田区まちカルテ」を制作中で、全世代対象の情報を掲載する予定。

日本維新の会千代田議員団

春山 あすか



官製談合事件を踏まえた区政運営の公平・透明性

問 官製談合事件を受け、契約関係を調査・検証・見直しする必要性への区の考えは。再発防止の取組みの具体的な強化策を問う。

答 区が検証を行い説明責任を果たすことは大変重要であり、だからこそ区民の信頼回復につながると認識。再発防止対策の検討体制の中で契約制度に関する調査・検証・見直しに鋭意取り組む。

「まちみらい千代田」等の従来事業の見直し

問 まちみらい千代田が持つ既存ストックを生かし、現代社会の状況の変化に対応した組織に見直すべき。エリアマネジメント団体

の活動を支援するワンストップ窓口の設置等、地域課題の解決や価値の向上に取り組むトータルでの地域活性化が必要。区の考えは。

答 これまでを総括し、あり方を見直すべき時期と認識、エリアマネジメントへの関与は現実的に困難だが、全庁的な整理を進める。

総合交通計画、GXを見据えたDX化のあり方

問 ゼロカーボンシティや人中心のまちづくりを目指す本区において、全体像を可視化する総合交通計画の策定が不可欠。DX推進による交通データの可視化・分析も必要と考えるが、区の見解は。

答 都市計画マスタープランに掲げた取組みを鋭意推進。データ分析による最適手法の検討等、庁内連携を図りながら研究を進める。



出所：東京大学先端研近藤早暎准教授「地域共生リビングラボの活用と方針」

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

※ DBO (Design Build Operate) : 公共が資金調達し、設計・建設・運営を民間に委託する方式

小林 たかや (自民党)



ボール遊びができる場の確保は

問 ①子どもの遊び場事業の今後の展開②既存公園活用の検討状況③旧区立外神田住宅解体後の跡地を暫定的に活用しては。

答 ①様々なリソースの活用で充実を図り毎年度1か所以上の新規実施が目標②機能拡充可能な公園等を選別中。引き続き具体的に検討③全庁的な調整を踏まえつつ遊び場としての暫定活用も含め検討する。

DBO^{*}方式という手法の問題点

問 (仮称) 神田錦町三丁目施設整備は区で初のDBO方式①選択理由、成果、課題は②区の管理監督と関与は③今後の採用は。

答 ①民設には資金力が必要な一方でサービス提供可能な法人に限られるため。運営法人の意見反映や工期短縮が可能だが継続的で綿密な協議が必要②DBO事業者が責任主体だが竣工までは保健福祉部長の下で部として一丸となって取り組む③民間の資金活用が困難なら採用の可能性も。

はやお 恭一 (自民党)



民間開放と人材育成の現状

問 5年前の職員定数条例改正では、今後5年間の推計業務量とそれに見合う職員定数増を明示。その進捗を問う①当時と現在の業務量の差異と要因②職員数は計画どおりか③民間開放に当たり企業に指導監督できる区職員の計画的な人材育成は。

答 ①コロナ禍など年度毎に異なる要因で業務量が増加②概ね計画どおりで行政需要に適正に配置③業務内容の熟知を含め当然の取組みの徹底と計画的な育成が必要。

民間開放と施設整備・財政計画

問 5年前策定の民間開放のあり方に基づき、運営及びコストの関与度から手法を選択、区は説明責任を負う①障害者各施設の手法の選択理由②継続・中止等の判断基準③施設整備以外の民間開放の進捗④施設整備・財政計画策定へ区の見解は。

答 ①最適な選択②実情を勘案③汎用業務中心に進行④基金も視野に中長期で計画。

田中 えりか (国民)



災害申請手続きのワンストップ化

問 発災後の迅速な復旧復興には手続きの円滑さが重要。DXやマイナンバーカードを活用して簡略化し、一元的な情報提供等をプッシュ型で行うべき。区の見解は。

答 証明発行システムの機能向上等、デジタル技術を活用し簡略化等に努めていく。

防災備品のアップデート

問 避難所でのプライバシー確保、断水時の衛生確保等、これまでの災害の教訓を生かし、時代に合った備えと支援をより一層進めるため、検証と更新が必要では。

答 避難所運営協議会での意見やアンケート等を参考にするとともに、様々な防災関連用品も研究し、検証と更新を進めていく。



出所: 議員本人提供

えごし 雄一 (公明)



防災対策について

問 ①防災備品に何を準備すべきかわからない区民が多い。具体例の紹介や相談体制の充実により自助の推進が必要②日常時と災害時を分けずフェーズフリーの発想を防災対策、防災教育に導入しては。

答 ①区民の声を収集しながら他自治体の取組み等を参考に調査研究する②学校教育活動等の様々な機会を取組みを進める。

聞き取り困難症(LiD/APD)^{※1}^{※2}について

問 ①聞こえているけれど聞き取れないという症状(LiD/APD)が知られるようになってきたが、理解されず悩む方も多い。区の認識は②聴力を問わず、医療機関に補聴器装着が必要とされれば助成可能としては。

答 ①診断基準や治療法が未確立だが、周囲が正しく理解し合理的に配慮されるよう努めることが肝要②現在、区では軽度難聴者への助成を実施。まずは国の調査研究の結果等を踏まえ実態把握に努める。

※1 LiD: Listening Difficulties (聞き取り困難症)
※2 APD: Auditory Processing Disorder (聴覚情報処理障害)

小枝 すみ子 (声)



議決無効となる要件

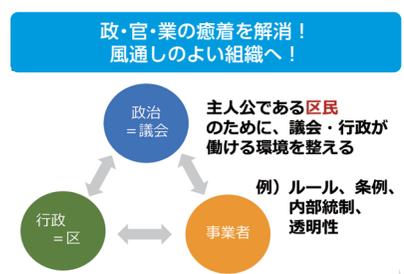
問 神田警察通りⅡ期工事の契約議決では執行機関の不正確な説明があり、適正な手続きを欠いていた。「ぼんぼん山住民訴訟判決」にあるように「議決の事実」ではなく「議決の質」が問われている。

答 予算、契約、陳情審査等、議会において十分な議論・審査を経て適正な手続きを踏んで議決されたものと認識している。

文化財とまちづくりの連携

問 再開発が進む中でも文化財が保存される仕組みを有効に働かせていくべきでは。

答 常盤橋門跡の修理工事や保存活用計画の策定等、全庁的に連携しており、今後も区内文化財の保存活用を推進していく。



白川 司 (自民)



高校生への教育支援について

問 本区は義務教育までは支援が厚い一方、高校生以降は恩恵が小さく区外転出の一因①成人しても住みたい区を目指すべく高校生・大学生への支援拡大を②図書館以外の学習スペース確保に区内予備校を教育インフラとして活用できないか。

答 ①教育ローン利子補給金を今定例会で提案するほか、都や国、他区の動向等を踏まえ支援のあり方等を研究②公平性の観点から慎重な検討が必要。創意工夫しながらスペース確保の方策を検討していく。

外国勢力浸透の警戒の必要性

問 首都の中核にある本区は外国勢力に真っ先に狙われ得る。区の治安を守るためにも外国勢力の浸透に警戒している姿勢を発信し他自治体のモデルになるべき。

答 国内外の人々でにぎわう秋葉原では一層の警戒が必要。関係機関と常に連携し安全・安心への強い思いを発信し続ける。

Q&A

一般質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

※UDフォント:ユニバーサルデザインフォント、誰もが見やすく読みやすい文字

牛尾 こうじろう (共産党)



入札における事件の再発防止へ

問 ①2011年の100条委員会報告で職員等公益通報制度の改善が提案された。今日までの改善は②政治倫理条例を早期に具体化し議員のほか区長等も対象とすべき。

答 ①通報対象者拡大等で改善を図ったが形骸化も否定できず、再発防止対策の中で検討②議会での議論を参考に研究する。

区の住宅施策の拡充を求める

問 ①九段住宅取壊し後の住宅確保は②第4次住宅基本計画に公共住宅の増設を明記すべき③居住安定支援家賃助成の対象を区営住宅に入居資格がある全員に④都営住宅の入居者募集時に区民優先枠を。

答 ①可能な限り現居住者の意向に沿う②人口動向・人口構成、世帯構成、ニーズの多様化に適切に対応③生活困窮者全般の自立支援対策として国の社会保障施策の中で検討されるべきと認識④地元割当てが受けられるよう都との調整に努める。

林 則行 (自民党)

(自民党)



九段中等教育学校授業料無償化

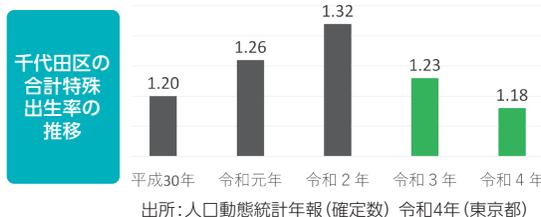
問 都の制度から除外された区独自の授業料無償化は予算の重点事業となるはずだが主要事業の概要に示されていない①開始時期と期間②都の情報をいつ得たか③当初予算と異なる行政計画を示す意図は。

答 ①4月に開始し当面継続②12月の報道発表時③都の正式発表前に予算案決定の必要があり計上、その後に区独自の実施とし不一致が生じた。特段の意図はない。

8万人の風格ある首都千代田区

問 人口予想8万人を想定した公共施設整備等の計画・構想を策定しない理由は。

答 柔軟な対応が困難となる可能性もあり、適切な時期に分野別計画等を示していく。



のざわ 哲夫 (維新)

(維新)



千代田区全体UDフォント※導入

問 ①学校教育現場へのUDフォント導入の取組み状況は②九段中等教育学校の適性検査における導入取組み状況は③千代田区全体へUDフォント導入を検討しては。

答 ①区立学校で採択されている教科書ではUDへ配慮されたフォントを使用済み。テスト、配付物等への導入は難しい部分もあるが、教員へのUDに関する研修等を通じ取組みを進める②現時点で未導入だが、適性検査の特性等も踏まえ今後検討③令和5年度からUDフォントの導入を推奨し、徐々に導入が進んでいるものと認識している。今後も幅広い分野でのUDフォント導入に努め、ユニバーサルかつインクルーシブである社会の実現に寄与していく。



富山 あゆみ (次世代)



障害のある子どもの子育て支援

問 ①預かり事業の対象拡大へ今後の見直しは②行政手続きガイドに障害者福祉項目の追加等、DXでバリアフリーの実現を。

答 ①可能な範囲で受け入れており、支援の充実へ引き続き課題等の把握に努める。②手続きガイドの対象者拡大等を進め、オンライン窓口等も検討を進めていく。

廃校を活用した居場所づくり

問 区民の部活動や文化芸術活動等ができる場所の選択肢を増やすために、廃校を再度整備して活用すべきではないか。

答 廃校の活用は暫定的で、今後のサービ



岩田 かずひと (次世代)



二番町地区地区計画の進め方

問 都市計画審議会に附帯決議つきの賛成を賛成と数えた採決は無効では。きちんと議論がなされず採決も含め全て不可解なまま区は計画を推進しようとしている。

答 附帯意見をつけることで都市計画としての内容が賛成されたと認識。地区計画変更は審議会の答申を踏まえ対応する。

避難所のあり方について

問 ①ペット同行避難訓練の実施を区から避難所運営協議会に提案しては②ポップアップテントの中に段ボールベッドとウレタンマットを揃え避難者のプライバシー保護を③区が連携している医療機関と遠隔医療システムの導入を検討しては。

答 ①訓練時に実物のケージを確認している段階、今後も協議会と情報を共有②災害時に有用な一方、保管場所確保に課題、様々な防災関連品を研究③健康保持に有効と認識、災害医療連携会議で議論する。

議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会、議会運営委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴できます。

千代田区議会ホームページで日程をご確認のうえ、区役所8階の議場傍聴席、委員会室へお越しください。

取材等で撮影や録音をご希望の場合は申請が必要です。開会前に時間の余裕をもって(10分前までが目安)区役所7階の区議会事務局で手続きを行ってください。



定例会 活動報告

常任委員会では、区長提出議案23件のうち15件を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は11ページをご覧ください。

常任委員会

企画総務委員会

議案7件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区手数料条例の一部を改正する条例」は、戸籍法の一部改正により本籍地以外の区市町村においても戸籍証明書の請求等が可能となることに伴い、当該事務に関する手数料を新たに定めるほか、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律及び関係する政省令の名称が改正されたことに伴い、条例中に引用する法律等の名称を改めるもので、戸籍証明書等に関する手数料については本年3月1日から、法律等の名称の改正については本年4月1日から施行するものです。

〈審査経過〉

これまで各自治体に郵送で行っていた戸籍証明書の交付請求が千代田区役所の窓口で完結できるため、メリットも大きく、利用数も多くなると想定していること。戸籍証明書の広域交付制度を利用できるのは、本人と配偶者、直系尊属・直系卑属のみであること。広域交付の利用方法として、相続手続きのための戸籍証明書の請求が考えられるが、必要な戸籍を発行するためには、現在の戸籍から、順を追ってひとつひとつ確認しながら戸籍を特定するため、1回の請求に関して90分程度の時間を要すると想定していること。広域交付に関しては予約制を導入し、スムーズな広域交付の発行に努めたいと考えていること等が明らかになりました。

その他、「千代田区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例」等6件を審査しました。



文教福祉委員会

議案7件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区介護保険条例の一部を改正する条例」は、第9期介護保険事業計画の策定に伴い、令和6年度から令和8年度までの3年間における第1号被保険者の所得区分の段階を見直し、各段階の介護保険料を定めるほか、規定を整備するものです。

〈審査経過〉

今回の改定で、新しい所得区分の第9段階から第14段階の方への応能負担を強化することになり、全体では約7,360人、62%の方がその対象になること。保険料算定に当たり、約5億7,000万円弱の基金残高のうち、約3億4,000万円を繰り入れたこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

所得区分段階を15段階から18段階に増やし、基金から繰り入れたことは保険料上昇を抑えることにつながるのでは評価したい。しかし、高所得者にさらなる負担をお願いすることによって、低所得者の保険料の軽減、基準額の上昇が抑えられたのではないかと考える。さらなる保険料の軽減策を求め、反対する。 【牛尾】

【賛成の意見】

現状の厳しい情勢を踏まえると一定程度の増額は避けられないが、上げ幅の抑制に努めており、特に低所得者層に配慮した保険料は評価できる。千代田区の介護保険制度を持続可能なものとするために様々な取組みが反映されていることから、本議案に賛成する。 【池田】

その他、「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」等6件を審査しました。

環境まちづくり委員会

議案1件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例」は、東京都市計画 外神田一丁目南部地区地区計画及び九段南一丁目地区地区計画の決定、並びに富士見二丁目北部地区地区計画の変更の決定に伴い、建築基準法第68条の2の規定に基づき、当該地区計画が定める地区整備計画の区域内における建築物の用途、容積率等の限度、その他の建築制限に関する事項について定めるものです。

外神田一丁目南部地区地区計画の件で、参考人として、外神田一丁目1・2・3番地区再開発準備組合の方をお呼びし、また、外神田一丁目南部地区地区計画及び九段南一丁目地区地区計画の件では、万世会館や生涯学習館等の公共施設が区内に含まれ、また区道を廃道し宅地化した上で公共施設を整備する計画であることから、企画総務委員会・環境まちづくり委員会連合審査会を開催し公共施設を中心に審査を行いました。

〈討論〉

【反対の意見】

区は計画を進めることだけに心血を注ぎ、明らかにすべきことを明らかにしようとしないうえ、反対する。 【岩田】

ここは立ち止まり、一定程度時限をつけ、事業の推移を見守らなければ、区民を苦しい状況に陥れるため反対する。 【小枝】

【賛成の意見】

委員長の下で丁寧に審査し、委員会として十分な議論が行われ、議案を判断する段階に来ていると理解し賛成する。 【桜井】

公共施設のあり方は一定程度の整理が必要だが、大きな地域課題の解決ということに関して、議案に賛成する。 【岩佐】

予算特別委員会

全議員で構成する当委員会に審査を付託された5議案の審査経過及び結果は次のとおりです。

「令和5年度千代田区一般会計補正予算第5号」は、「国・都補助金等過年度分精算金」、「錦華公園の整備」及び「基金積立金」等の経費を追加するほか、自転車通行環境整備について、事業の進捗状況から債務負担行為を新たに追加することを主な内容とするものです。

【反対の意見】

神田警察通りⅡ期工事が2年間進んでいない現状を踏まえ、現実的に可能なところから工事を進める必要がある。また、地域を二分し対立を深めたことを反省して周辺住民の意見を聞き、合意形成することが求められるため、本補正予算案に反対する。【小枝】

区はスラップ訴訟のような訴訟を提起し、それを理由に情報開示や答弁を拒否している。談合と疑われるような契約についても振り返ろうとせず、別の案件では強引に計画を進めようとしている。よって本補正予算案に反対する。【岩田】

【賛成の意見】

神田警察通りⅡ期工事の遅れについては、区は工事が妨害されていることを理由としているが、住民同士的一致点を見出す努力が足りていなかったという結果であると考え。区が住民の合意形成に力を尽くすことを求め、本補正予算案に賛成する。【牛尾】

神田警察通りⅡ期工事は、自転車通行環境整備だけでなく、バリアフリー法に基づく特定道路としてその基準に対応した道路整備を行うものである。安全性の観点からも工事を中止すべきではなく、道路整備を引き続き継続するため、本補正予算案に賛成する。【富山】

討論を終了し、採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決定しました。

「令和6年度千代田区各会計予算」の4議案は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、文教福祉、環境まちづくりの3つの分科会を設置し、詳細な調査を行いました。その後、総括質疑で多数の事項の質疑が行われ、次のような意見発表がありました。

【反対の意見】

本予算案では、区民や子育て世代の願いに応える施策が盛り込まれたが、第1に、あらゆる世代や事業者に影響が及んでいる物価高騰や経済低迷に対する支援策があまりにも弱すぎる。第2に、まちづくりにおいて地権者、住民の理解を得る努力が足りないまま、事業を強引に進めたことにより、住民同士の分断を生んでいる。第3に「長年住み続けてきた千代田区にこれからも住み続けたい」という当然の願いに背を向けていることである。第4に、区民や高齢者の暮らしが大変な中での国保料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の負担増である。よって、本予算案に反対する。【牛尾】

子ども・子育て支援施策や福祉施策の強化、DXの推進等の重点テーマを設け、時代の変化や区民ニーズに対応していく姿勢が見られた。しかし、予算の適正な使い方について議員として区民への説明責任がある中で①危機管理の運用について、区民目線で十分とは言えず、特に、区が区民を訴える際の手続き及び費用の妥当性に疑問が残る②どの地域にどの公共施設が必要と考えているのか、まちづくりの中でどのように位置付けていくのか、ビジョンが見

えない③あらゆる案件において意思形成過程が議会・区民に見えにくい。以上3点の理由で本予算案に反対する。【はまもり】

疑義があってもやっていることは正しいとの認識でいる区は、事件を起こしたにもかかわらず、リーガルチェックすらせず、自浄作用も反省する気持ちも無いのは答弁から明らか。飼い主のいない動物への予算等は一定の評価をするが、今までの態度を改める気のない中で組まれた予算である。区が一番にやるべきは、膿を出し切り透明性を高めることである。よって本予算案に反対する。【岩田】

【賛成の意見】

本予算案は、デジタルデバイドの解消などのDX施策や、地域社会のつながりの強化に重点を置いた予算となっている一方で、物価高騰の影響を受けやすい子育て世帯を多様なライフスタイルに応じて支援、障害児福祉に関しては区独自に支援を拡充するなど、子育て人口の増加している千代田区らしい、きめの細かい支援が増えていることを評価する。区民の中でも様々な意見があるまちづくりにおいては、引き続き地域のニーズを丁寧に聞き、柔軟に対応していくことを求め、本予算案に賛成する。【富山】

本予算案のうち、子ども費が高い構成比を占めていることは、子ども・子育て支援施策充実の必要性を踏まえ、子育て世代の経済的な負担の軽減や子育て教育環境の充実・整備などを積極果敢に展開しようとするもので、本区への転入人口などのトレンドに沿った、きめ細かな内容である。質疑において、平和教育の矛盾、教育の過度な平等意識による弊害を指摘し、習熟度別クラス編成の充実、正しい平和教育については改善の余地があると考え、全体としては評価できる予算編成であり、賛成する。【白川】

「子ども・子育て支援施策」、「DXの推進」、「高齢者施策」、「地域コミュニティ活性化」、「脱炭素社会の実現」、「災害に備えたまちづくり」の6テーマを重要課題として編成され、具体的な事業として①私立保育所等への運営補助②病児・病後児保育事業③いじめ、不登校防止プロジェクト④出産・子育て支援⑤認知症支援サービス⑥障害児等への支援関連事業⑦産業コミュニティ形成支援事業⑧GXの取組み⑨食品ロス削減の推進⑩防災対策の推進などが評価できる。今後、区民に寄り添い、誰一人取り残さないとの思いで各事業に取り組んでいくことを強く要望し、本予算案に賛成する。【えごし】

区民に向けたよりよい事業の遂行に区が努力していることを理解するとともに、子育て施策の充実、グリーンインフラやブルーカーボン等の新たな環境政策、DXの推進等を評価する。ただし、既存事業について見直すべきものは見直してスクラップアンドビルドが必要である。また、受益者にとっての予算の公平性、公明性の担保も大切である。さらに、多様な世代が活動する「場」、「活動する機会」とそれらが行われる「空間」のデザインが重要であり、この観点から千代田区らしいコミュニティデザインを検討していくことを期待し、本予算案に賛成する。【春山】

本予算案は、第4次基本構想策定後初めての予算案であるとともに、劇的に変化したライフスタイルにも対応していくことが求められる。九段中等教育学校後期課程授業料無償化については評価するが、予算書と「予算案の概要」との記述に不一致が生じるなどの問題が発生したことは区として重く受け止め、今後は正確な行政計画の策定により一層の注力を行っていくよう求める。実施される施策の効果検証を多角的に行いながら、持続可能な行財政運営を行っていくことを求め、本予算案に賛成する。【池田】

討論を終了し、採決の結果、令和6年度各会計予算4議案は、いずれも賛成多数で可決すべきものと決定しました。

定例会活動報告

特別委員会

デジタル・トランスフォーメーション特別委員会

千代田区スマート化推進プロジェクトの一環として新たに始動する「デジタル活用提案制度」の説明がありました。区民や千代田区内に拠点を有する企業・団体・学校等から、デジタル技術を活用し地域課題の解決や行政サービスの向上につながるアイデアを募集し、千代田区DX戦略に掲げる「だれもが取り残されることなくデジタルの恩恵を享受できる、区民の多様な幸せの実現」を一層推進していくとの報告がありました。

また、情報セキュリティについては、職員に対する研修だけではなく、情報セキュリティに関する事故を想定した対応訓練、セキュリティ診断や業務委託先を含めた監査を実施するとともに、高度なデジタル技術などを活用してセキュリティ対策に取り組んでいくと報告がありました。

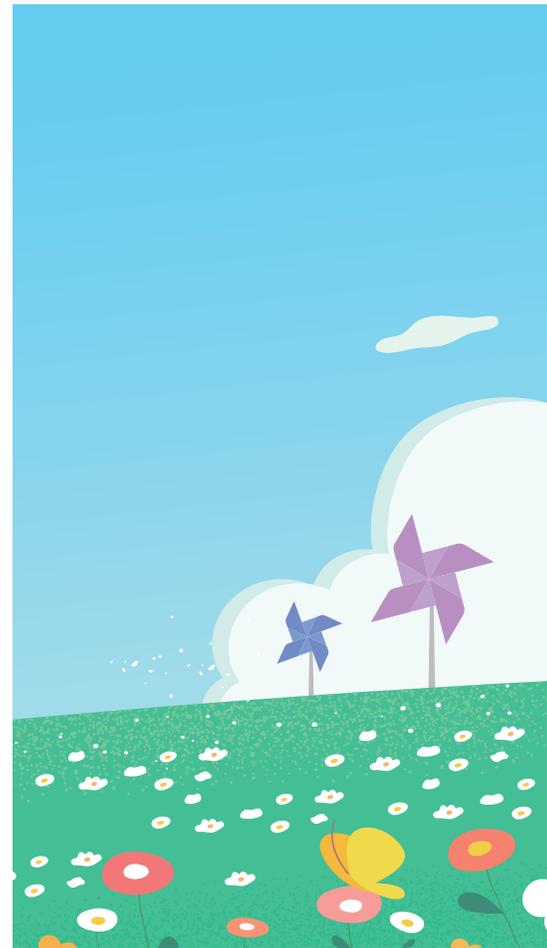
公共施設調査・整備特別委員会

子どもの遊び場として、新たに東京中華学校校庭が加わり、3月24日から毎週日曜日、午後2時から午後4時まで、プレーリーダーを配置して実施すること。中期的には、年度1か所以上は増やし、実施日及び実施時間の拡充を考えている旨の報告がありました。

また、和泉小学校・いずみこども園等の施設整備については、現地での建替えが難しいことから、現施設の敷地と和泉公園との換地による一体的な整備に向けて検討していること。庁内や東京都との協議により一定の見通しが立ってきたため、校・園関係者懇談会にて施設整備の基本構想策定を進めていること。令和6年度は基本計画の策定と都市計画変更手続きを進めていく予定であること等の報告がありました。

文化継承・コミュニティ活性化特別委員会

令和5年12月5日火曜日に開催した勉強会を踏まえ、各委員から講師の話を聞いての感想や今後の当委員会に取り上げたいテーマ、講師等を話し合いました。各委員から様々な意見が出たため、正副委員長にて意見を取りまとめ、優先的に課題共有できるテーマや講師を各委員と調整し、次回に向けて絞り込んでいくことになりました。



契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会

本年1月24日、元区議会議員及び元区職員が工事契約に関する官製談合防止法違反容疑で逮捕されたことを受け、具体的な再発防止策等について可及的速やかに

調査・検討を進めるため、本特別委員会が設置されました。2月22日に開催された委員会では、今後の委員会の進め方や調査に当たって必要とする資料等について各委員から意見を聞き、これらを整理して、区からの説明や報告も受けながら、今後精力的に調査をしていくことを確認しました。

可決した決議

千代田区議会の信頼回復に努めることを誓う決議

区議会は、区民の負託により区政に携わる職責を有することを深く認識し、その負託に応えるため、政治倫理の向上と確立に努めていく必要がある。

しかし、本区議会議員と元職員が、官製談合防止法違反容疑で令和6年1月24日に逮捕され、同日に千代田区役所と区民の代表機関である区議会が家宅捜索をされるに至った。

千代田区民そして先達が積み重ねてきた千代田区政の信頼を裏切り、区政及び区議会に混乱をまねき、区と区議会の信用を著しく失墜させた。

現在、同元議員の身柄は勾留されたままであり、区民、区議会に対する説明責任はいまだ果たされていない。本区議会は、事件の重大さを真摯

に受け止め、二元代表制の意味を再認識し、事実確認に努めるとともに、二度とこのような事態を引き起こすことのないよう再発防止について早急に検討を進め、区民に信頼される議会運営及び改善に全力で取り組まなければならない。

よって、本区議会は、議員一人一人がその職責の重さを自覚し、襟を正すとともに、政治倫理の向上に向け全議員が一丸となって、区民からの信頼回復に努めることを誓うものである。

以上、決議する。

令和6年2月14日 千代田区議会

全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

本会議における討論 (要旨)

「議案第1号 令和5年度 千代田区一般会計 補正予算第5号」に対する附帯決議

否決



【反対の意見】

今回の附帯決議は令和5年度の本予算につけるべきものであったと考える。決議内容について反対するものではない。街路樹への多様な意見がある中で合意形成のための議論が不十分であったことが工事停滞の要因であり、区と議会の責任は決して軽い。住民訴訟にまで至っている現状を打開すべく、互いに尊重し、折り合える住民自治の醸成に励むことが、今日の困難な事態を招いた責任の一端を担う議会と区の果たすべき役割ではないか。 【牛尾】

千代田区個人番号の利用及び 特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

可決



【反対の意見】

本条例は子ども医療費助成や高校生等医療費助成に関する事務処理のためにマイナンバーの利活用を広げるものであるが、マイナンバーカードは情報漏えいやマイナ保険証での情報のひもづけがされていない等の事故が相次ぎ、国民の不安は広がるばかりである。こうした中で利活用を拡大することは、個人情報の漏えいリスク拡大等、個人情報の保護の点からも問題であると考え。よって、本議案に反対する。 【牛尾】

神田警察通りⅡ期自転車通行環境整備工事請負契約の一部変更について

可決



【反対の意見】

街路樹を守る区民は整備工事に反対していないのに区は歩み寄る気が全くなく、

2年近くにらみ合いが続いた。その間、区は他の手法を考えようとしなかったため、話し合いを求める区民の不信を招き、工事遅延による工事費の増加につながった。その責任は、丁寧な説明を怠り区民の排除しかしてこなかった区にある。これ以上無駄な出費が続くことは区にも区民のためにもならない。よって本議案に反対する。 【岩田】

千代田区地区計画の区域内における 建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例

可決



【反対の意見】

本条例は規制緩和型であり、持続可能なまちづくりとは正反対の改定である。人口減少社会に突入する中、オフィスの需要減等で区内の再開発事業は計画見直しを余儀なくされている。また住民の合意形成が不十分なまま地区計画が新設、変更されている。再開発は住環境に大きな影響をもたらすもので、準備段階からの十分な情報公開と住民参加を定めた区独自の運用基準が求められることを強調し、反対する。 【牛尾】

【反対の意見】

外神田一丁目南部地区の再開発事業には問題が3点ある。まず坪単価の試算が実情と大きくかい離しており、これが変わると追加費用の負担を求められる等、区民や地権者の損失につながる。また公共施設に関して検討が不十分で、必要な施設を組み込めるかの見通しも立っていない。さらに事業の見直しや撤退の判断基準等がないため、リスクを最小限に抑えられない。以上のことから、本議案に反対する。 【はまもり】

【賛成の意見】

本議案に関係する三つの地区計画はそれぞれ区の施設が入ることが想定され、今後、地域の核となる事業である。特に外神田一丁目南部地区は長期にわたり丁寧に議論を進め、今定例会でも二つの委員会による連合審査が行われた。今回の大規模な再開発を進めるには、大きな視点での検討が必要となる。これを機に公共施設の整備方針もしっかりと議論をした上で策定していくことを期待し、本議案に賛成する。 【大坂】

「議案第14号 千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例」に対する附帯決議

否決



【反対の意見】

附帯決議文案はまちづくりの進め方に関する意見や要望であり、条例の内容に直接合致した内容とは必ずしもなっていない。「審議を深めることができなかった」とあるが、これまでも委員会で十分な議論を重ね、条例案の審議でも連合審査会を開催する等、委員長の下に横断的で多岐にわたる議論が慎重かつ丁寧に行われている。こうした経過をたどり議案の判断に至っていると考えるため、本議案に反対する。 【小野】

令和5年7月11日 本会議議事録 改竄の調査を求める請願

不採択



【反対の意見】

第1に、当時の本会議では誰一人採決ボタンの押し間違いを問題にしておらず、それを半年経った今問題にする理由を見い出せない。第2に、議事録と録画音声に不一致はなく、そもそも改ざんする理由がない。以上2点から反対する。議会事務局と区議会が一体となって議会活動に取り組み、信頼関係を作っていくことで、区民の要望を区政に反映させるための仕事が十分に行えるようになるのではないかと。 【牛尾】

【賛成の意見】

当請願は投票行動及び議事録に関する調査を求めるもので、文中に改ざんや違法行為という強い言葉を使っているが、罪を問うのが目的ではない。なぜ条例である会議規則に反する投票のやり直しがなされたのか。投票結果は有効であったのか。やり直しを求める発言が議事録に反映されなかった理由は何か。議決の重みを認識し、再発防止を図るためには調査が必要であると考え、本請願に賛成する。 【はまもり】



委員会で取り扱った請願・陳情 (令和5年12月15日～令和6年3月27日)

詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請願・陳情名 (受付順に掲載)	送付委員会	審査状況 (令和6年3月27日時点)
外神田一丁目再開発のエリア内の区有施設の情報共有に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発提案に関し事業者と地域住民間の調整を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ本社跡地の再開発に伴う二番町地区計画変更に関連し、区議会及び都市計画審議会において住民・事業者双方からの直接意見聴取等を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ本社跡地再開発に伴う二番町地区地区計画変更に関連して区議会及び都市計画審議会の速やかな審議と反対住民の審議遅延行為に毅然とした対応を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
陳情書「二番町日本テレビ本社跡地再開発案に関して、地域住民の意見を出来る限り正確に把握していただきたいこと」について。	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更について「陳情書」	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発の意思決定プロセスに対する陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画変更に関する影響調査実施に関する陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発案に対する民意の把握を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田清掃事務所及び千代田万世会館の機能更新等に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発による地域活性化を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
現行の健康保険証の存続を求める陳情	文教福祉委員会	審査終了
健康保険証の存続をするように国に意見書を提出することを求める陳情	文教福祉委員会	審査終了
外神田一丁目南部地区再開発の直近の事業計画案を示すよう求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
(1)二番町地区地区計画変更案に対し実施された都市計画法16条及び17条意見書の集計・報告の正確さと公正さに関する調査、並びに(2)今後の再度実施される16条・17条に基づく意見書における募集手続き及び集計・報告の正確性と公正さを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発について、建築条例審査前に公共施設である清掃事務所について区民から意見を聞き大方の区民意見を取り入れることを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区二番町地区計画変更に対する区議会環境まちづくり委員会並びに都市計画審議会の委員による充分なる検証実施の陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更に関して、住民への詳細説明及び都市計画法第16条第1項の公聴会の開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更に係る説明会及び意見書の取り扱い方に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画の変更について、広く番町・麴町地域の地域住民を対象とする説明会を至急開催することを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の早期変更を要望する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区議会議員の定数・報酬・政務活動費の削減を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
二番町地区地区計画変更においてサイレントマジョリティである子育て世代の意見を聞き、未来の子供たちのための前向きな議論を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画早期変更に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
教育環境を守る要望書を区議会で受け止め、慎重に審議を進めること求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画法17条に基づく「二番町地区地区計画の変更に係る説明会」および公告縦覧の実施前に資料修正・追加を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
「都市計画法第17条に基づく『二番町地区地区計画の変更に係る説明会』および公告縦覧の実施前に資料修正・追加を求める陳情(送付5-54)」に関する追加の陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画法第17条に基づく二番町地区地区計画の変更に係る意見募集に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
新たな都市計画審議会委員を選任することで千代田区議会の役割を果たすことを求める陳情	議会運営委員会	審査終了
長期欠席の都市計画審議会委員の状況確認及び適切な対応を行うことに関する陳情	議会運営委員会	審査終了
都市計画地区計画二番町地区地区計画(変更)に関する意見書を収集する方法について調査をお願いする請願	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目計画について手続きの調査を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
工事契約に関する議員の関与について真相解明を求める陳情書	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
不祥事に関する迅速な状況把握と再発防止に関する説明、区民をはじめ多様な人が話し合っ て決めるまちづくりの実現を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
東京都市計画地区計画 二番町地区地区計画(変更)に関する意見書についての調査と提出の やり直しを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
泥沼にはまった千代田区を助けるための調査をお願いする陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
区が瑕疵のない真実を報告するよう指導を求める陳情書	議会運営委員会	継続審査
神田警察通り道路整備工事、2期工事の中断と整備内容の変更を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
令和5年7月11日 本会議議事録改竄の調査を求める請願	議会運営委員会	不採択
神田警察署通りの街路樹を守る会のメンバーに対する仮処分の申し立て件についての陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区議会議員政治倫理条例の制定を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会	継続審査
半蔵門縄文弥生遺跡の保存を求める陳情書	企画総務委員会	審査終了
千代田区都市計画審議会における「二番町地区地区計画の変更」の採決の法的問題点の確認を 議会から区に求めていただく陳情	環境まちづくり委員会	継続審査

※請願・陳情名は提出された原文のまま記載しています。

本会議・各委員会の記録は、区議会ホームページでご覧になれます。



議案の審議結果等(令和6年第1回定例会)

可(可決) 否(否決)

○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席) 除(除斥)

Table with columns for bill name, attendance, votes, and council members (1-25). Rows include '議員提出議案' and '区長提出議案'.

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数24名
◇ 会派名 #次世代・都民ファースト・立憲の会(次世代) / 千代田区議会 自由民主党(自民党) / 千代田区議会自由民主党議員団(自民) / 公明党議員団(公明) / ちよだの声(声)
日本維新の会千代田議員団(維新) / 日本共産党(共産党) / 国民民主党(国民)
※議長が除斥となり副議長が議長の職務を行ったため、採決に加わりません



令和6年第1回定例会 会期日程 (会期:2月14日～3月14日の30日間)

月/日	本会議・委員会関連等日程
2/14	議会運営委員会
	本会議(会期の決定・区長招集挨拶・議案の議決等)
	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
15	議会運営委員会
20	議会運営委員会
21	本会議(代表質問・一般質問)
22	本会議(一般質問・議案の付託等)
	予算特別委員会
	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
26	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
27	議会運営委員会
	予算特別委員会
	本会議(議案の議決)
28	議会運営委員会
	本会議(議案の議決)
	予算特別委員会 企画総務分科会
	予算特別委員会 文教福祉分科会
	予算特別委員会 環境まちづくり分科会

月/日	本会議・委員会関連等日程
29	予算特別委員会 企画総務分科会
	予算特別委員会 文教福祉分科会
	予算特別委員会 環境まちづくり分科会
3/4	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会
	公共施設調査・整備特別委員会
	文化継承・コミュニティ活性化特別委員会
6	議会運営委員会
	本会議(議案の付託)
	企画総務委員会・環境まちづくり委員会連合審査会
7	予算特別委員会
8	予算特別委員会
11	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
13	議会運営委員会
14	議会運営委員会
	本会議(議案の議決等)



閉会中の主な活動 (12月13日～2月13日)

月/日	日程
12/14	環境まちづくり委員会
25	議会運営委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
1/11	議会運営委員会
12	環境まちづくり委員会
19	環境まちづくり委員会
25	議会運営委員会
	環境まちづくり委員会

月/日	日程
30	全員協議会
2/1	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
2	議会運営委員会
5	企画総務委員会
6	環境まちづくり委員会
7	〈令和6年第1回定例会告示日〉
	議会運営委員会

令和6年第2回 定例会の主な予定

6/12(水)	告示日
6/19(水)	招集日
6/27(木)	代表・一般質問
6/28(金)	一般質問

※日程は変更となる場合があります
※詳細は区議会ホームページをご覧ください



録画映像の 速報版を公開



本会議録画映像「速報版」の公開を開始しています。会議終了から1～2日後(土・日・祝をさむ場合はその翌日)で公開し、ライブ中継そのままの映像をご覧いただけます。ぜひご確認ください。

千代田区議会



インターネット中継



区議会だより 編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎岩佐 りょう子(次世代)
○富山 あゆみ(次世代)

西岡 めぐみ(自民党)
のぞわ 哲夫(維新)
えごし 雄一(公明)

牛尾 こうじろう(共産党)
はまもり かおり(声)
白川 司(自民)

田中 えりか(国民)



ホームページアドレス
<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>



メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp



公式X(旧Twitter)
[@Chiyoda_Kugikai](https://twitter.com/Chiyoda_Kugikai)

※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式X(旧Twitter)」も発信していますのでぜひご利用ください。